

2023年7月例会報告
豊田堰と取手ヘルスロードを歩く

開催日	2023年7月5日(水)
集合場所	常磐線 取手駅西口
集合時間	9時30分
スタート時間	9時15分 (13時藤代駅ゴール)
コース	取手駅→利根川堤防→取手緑地→小貝川堤防 →戸田井橋→豊田堰(昼食)→常磐線高架下 →八坂神社→藤代駅
距離	17km
参加者	22名
天候	曇り時々晴れ

ウォーキング状況

今回は関東三大堰シリーズの2回目。福岡堰に次いで、一番利根川の合流地点に近い豊田堰と取手のヘルスロードを組み合わせたコースとしました。

梅雨前線は日本列島に近づいていますが、梅雨明けまではもう少しかかりそうです。

今日の予想最高気温29℃でしたが、スタート時は曇り空で幸先良いスタートができました。

駅構内を横切り東口を經由し線路沿いに南に向かい、取手環状に出て、取手宿の手前で利根川の堤防にでました。

ここからは堤防を道なり進めば、藤代駅の常磐線高架下まで迷うことなく進むことができるコースなので、半自由歩行気味に歩みを進めましたが、皆さん健脚揃いなので結果は団体歩行かな。



堤防では気持ち良い風が吹いておりましたが、堤防を降りて取手緑地に入ると、両側がに葦が高く茂り風が無くなり、おまけに太陽が顔を出したので急に暑さを感じました。

顔を出した太陽は傘をかぶっていて、天気ことわざでは「雨が降る」前兆と聞いていましたので、的中しないように祈り歩みを進めました。



ここで豆知識

「月（太陽）に 傘がかぶる と雨」とよく言われます。

傘は高い空にできる巻層雲や高層雲という雲に光があたるとできる現象です。

この種類の雲は低気圧の前や横にできやすく、そのため傘ができると雨となることが多いのです。

との事。

同じ天気ことわざに、「夕焼けは晴れ」があります。

夕焼けは西の空に雲がなく、水蒸気が少なく空気がきれいな時に起こります。

西から天気が変わるので、翌日は晴れとなりやすいです。

「海から79km」標識を曲がると、ここが利根川と小貝川の合流地点となり、小貝川の堤防へと出ます。

まもなく、戸田井橋が見え、その下をくぐり抜けると豊田堰に到着です。



まだ、11時過ぎですが、ここで、早めの昼食をとりました。

豊田堰について少し説明しますと。

関東三大堰はいずれも小貝川にあり、上流から福岡堰、岡堰、豊田堰です。

江戸時代に鬼怒川と小貝川の氾濫地帯だったこの地区を新田開発する為に、まず、鬼怒川と小貝川を分離するため、流路改修や護岸工事を行い、その後、用排水路の開削が行われ、堰が作られました。

この豊田堰は1667年に作られ、何度も改修工事を経て、現状の堰は昭和53年に竣工したものです。

龍ヶ崎市、河内町の用水路として利用され、かんがい面積は約1560ha、最大取水量は約9.4m³/sです。

昼食後は筑波山を右手に見ながら小貝川堤防を進み、常磐線高架下をくぐり、八坂神社横で堤防を降り、藤代駅にゴールしました。

交通の便の関係で龍ヶ崎市駅がゴールの人とは途中でお別れしました。

結果的には、雨も降らず、そんなに猛暑日にもならず、無事歩く事ができました。

皆さんの協力に感謝いたします。

以上

記 松崎 寛